

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	1 健診結果を正しく理解してもらい生活習慣の是正がなされる。 2 健康上の不安を解消し、適切な健康管理を行うようになる。						
事業の概要	各種健診の結果について、それぞれ受診者との相談を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	948		922		1,896	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	健康相談を受けた人数	人	2,766	2,581	2,632	2,784
			%				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康相談総人数は、前年度比7%減少であるが、各種相談事業としてはおおむね達成している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市食生活改善推進団体連絡協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	保健衛生知識全般並びに栄養及び食生活改善について、会員相互の啓発と地域の保健衛生水準向上に協力し、住民の健康増進に寄与する						
事業の概要	市民の健康意識の向上と推進を図るため、さくら市食生活改善推進団体連絡協議会事業を健康増進事業と認定して事業経費として43,000円の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	43		43		43	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	教室の総参加延人数		216	368	386	386
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民に多く食生活改善に周知と啓発をし、生活習慣病の予防につとめ、教室の参加人数が70%増になった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康づくり推進協議会事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	市民の生涯を通した総合的な健康づくり対策事業を進めるため。						
事業の概要	市民の生涯を通した総合的な健康づくり対策を進めるため、15人以内の委員を委嘱して組織し、健康づくりに関する計画や実践について審議を行う。年2回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	54		72		90	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		提案等した案件数	件	6	6	7	8
	活動						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画通り開催し、健康づくり対策事業を協議、新規事業等についても説明、施策に反映するため意見を得た。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	森 暢子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	多くの市民が自分の健康について関心を持ち、専門的な知識の習得や健康増進のための手法等について学び、市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を目指す。						
事業の概要	医師・歯科医師無料相談、20歳代の健診、骨密度測定、食育推進コーナー、良い歯の表彰、赤ちゃんだっこ等健康づくり体験コーナー、パンフレット配布等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	204		404		544	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	健診、相談、教室等の来場参加数	人	2,157	1,383	1,500	1,800
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	前年度は、地域少子化対策重点事業の一環として、同日午後、講演会を実施したが予想より参加が少なく、また、まつりの事業も少ないスタッフで並行して実施となり、全体数は達成できなかった。20歳代の健診受診数は48人と増加した。（前々年度は15人）。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	市民が生活習慣病予防を目的に、運動習慣を身に付け自ら行動できるようになる。また、病態や食事の知識を身につけることで自宅で実践できるようにする。						
事業の概要	5月から3月にかけて月1回運動（貯筋フィットネス・ウォーキング）・栄養（調理実習・試食）等の実践体験をし健康増進をはかる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	308		504		577	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	特定保健指導者数	人	211	249	261	261
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	特定保健指導及び結果相談会において保健指導を行い、実績は前年度比、18%増加した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	食育推進計画策定事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	食に関する知識や、健全な食生活を実践することができる人間を育てるとともに、まちづくりの視点から食育を推進し地域活性化や産業振興を行う。						
事業の概要	食育推進計画策定委員会等設置し、計画策定及び食育推進体制の整備を整え、市民アンケート調査を実施し、さくら市食育推進計画の策定を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		4,036		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	食育推進計画の事業進捗率	%		100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画通り完了した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	女性の健康づくり事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	緑川芳子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	日常生活で骨折・転倒により要介護状態にならないようにする。						
事業の概要	骨粗しょう症検診の受診者を対象とした骨粗しょう症を予防するための教室開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	27		22		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	教室参加者数	人	17	15	18	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	教室の開催回数は減少したが、参加者は前年度と変わらずおおむね順調。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	緑川芳子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	市民にがん検診を受診してもらい、がん等の早期発見・早期治療を行うことにより、がんによる死亡を減少させる。						
事業の概要	健康管理調査を行い厚生労働省のがん検診の指針に基づく項目、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	60,727		60,716		63,718	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	各がん検診精密検査の受診率	%	73	71.6	73	75
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	各種がん検診の中で胃がん、大腸がんの精検の受診率が低い。精検の受診率アップが、早期発見・早期治療につながるため、精密検査対象者に対し、対象者全員受診するよう更なる勧奨に努める。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	節目対象者にクーポン券を発行し、がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診を促し、早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	乳がん・子宮頸がん検診（医療機関検診含む）において、特定の年齢に達した方に対してクーポン券を発行し、4月1日～12月31日までに受診した方の個人負担を免除する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,034		1,510		1,280	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	クーポン券を利用した人数※H28以降大腸がん対象外	人	616	107	112	115
	成果	精密検査の受診率（子宮がん・乳がん）	%	78	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子宮がん・乳がん（クーポン）の精検の受診率が100%で達成している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	予防接種事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	免疫の効果を得ることにより、感染症の発症及び重症化を予防。						
事業の概要	予防接種により疾病への抵抗力をつけ疾病の発生及び蔓延を防止する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	82,386		79,965		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	接種率	%	96.8	100	98	98
			人				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標にしている定期接種の接種率は100%である。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乳児健診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	乳児の発達発育が順調であるかを確認するとともに疾病の早期発見により、心身の健全な発達を促す。						
事業の概要	4ヵ月児と10ヵ月児各年12回実施。身体計測、発達チェック、診察、保健相談、栄養相談。10ヵ月児健診には、歯科相談とブックスタートを加えている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,465		2,296		9,404	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診率	%	98.4	98	100	100
	成果						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標の受診率が概ね90%後半を維持していることから成果は順調である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	1才6ヵ月児健診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	永井 紀子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	幼児期における心身障害等の早期発見、う歯予防のための適切な指導及びう歯予防の意識付けを強化する。あわせて子育て相談・支援により虐待予防に務める。						
事業の概要	実施回数：年12回実施 身体計測、診察（小児科医・歯科医）、保健相談、保育相談、栄養相談、歯科相談						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,436		1,435		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診率	%	96.9	98.8	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である受診率が90%後半で推移していることから成果は順調。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼児歯科保健対策事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	歯科健診・う歯予防の意識付と食生活指導。5歳児については、歯科指導とあわせて、児の発育・発達支援を行い就学に向けての準備ができるようにする。						
事業の概要	身体計測、診察（歯科医）、保健相談、栄養相談、歯科相談。2歳6か月児では、上記にことばの相談、5歳6か月児ではフッ素塗布、教育相談を加えている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度	28年度	29年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,269	2,034	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	5歳6か月児歯科受診率	%	92.3	90.1	93	93.6
	成果	5歳6か月児う歯のない児の割合	%	67.2	52.5	68	68.6
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である5歳6か月児歯科健診の受診率を、他の乳幼児健診受診率である90%後半まで高める必要がある。また、5歳6か月児歯科健診でう歯のない児の割合が平成27年度から15%近く減少している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	母子保健推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	母子の一貫した健康管理と健康の保持増進がなされる。 父親の育児参加が増える。						
事業の概要	母子健康手帳の交付、ママパパ学級開催、乳幼児相談、のびのび発達相談、こども発達相談、ことばの相談、すこやか2次健診、ふちとまと教室、とまと教室等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,309		2,704		2,095	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間母子の訪問・面接・電話件数 (毎月月報) ※平成28年度から	件	462	746	750	
	成果	のびのび発達相談参加率	%	98.6	95.1	99	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	助産師による訪問指導が始まり、成果指標である指導件数の増加に繋がった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	3才児健診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	身体・精神発達の健やかな発育・発達を促す。適切な親子の関わりを支援する。療育等支援が必要な親子の支援につなげる。						
事業の概要	尿検査、身体計測、診察（歯科医、内科医）、保健相談、保育相談、栄養相談、歯科相談（染め出し）、発達相談						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,075		1,805		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診率	%	96.7	97.3	100	100
	成果	う歯のない児の割合	%	81.3	81.8	83	84
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である受診率は、90%後半で推移していることから、順調と判断する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	妊婦一般健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	経済的負担の軽減を図り妊婦健康診査受診率を向上する。 未受診者について確認することにより虐待予防に務める。						
事業の概要	妊婦健康診査14回費用の助成を行っている。県外医療機関で契約できない医療機関は扶助費で対応している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	31,670		32,058		39,744	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診票交付者のうち、妊婦健診の受診者数（延べ人数）	人	4,605	4,554	4,920	4,950
	成果	産婦健診（産後2週間と1か月の2回受診者）受診率	%			90	92.7
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である妊婦健診受診者数は、母子手帳交付数に変動があるためか前後している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	教職員健康診断事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	田代浩貴		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	教職員に対する福利厚生 の充実、疾病の早期発見・予防及び健康増進を図る						
事業の概要	学校保健安全法に基づき、市内小中学校勤務の教職員に対し定期健康診断及び結核検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,872		2,533		2,301	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		定期健康診断受診者数	人	101	185	200	200
		結核検診受診者数	人	270	298	325	325
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	教職員に対して定期健康診断及び結核検診を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	人間ドック補助事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	村松 貞往			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制。						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の被保険者の受診者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度	28年度	29年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7,060	7,900	7,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	人間ドック補助件数	件	353	395	350	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	想定件数を大幅に上回った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結核検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	結核の予防及び蔓延防止						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期の健康診断を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	974		962		1,100	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	検診の延べ受診者数	人	470	480	490	500
	成果	再検査となった受診者数	人	10	15	15	15
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診対象者に個別通知を発送しているため、受診者は増加している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	不妊治療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	永井 紀子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	少子化対策として実施する。						
事業の概要	不妊治療（体外受精・顕微授精・人工授精）を行った法律上の夫婦に対して不妊治療に要した費用の一部を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,034		6,722		6,656	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	助成実人数の内、妊娠届出者数	件	7	13	10	10
	成果	助成実人数に占める妊娠届出者数の割合	%	13.7	23.6	20	20
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である助成実人員に占める妊娠届出者の割合が10～20%代と低く達成度は低い。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	緑川芳子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	基本健康診査の受診の結果により、生活習慣を改善し生活習慣病の予防に努め、健康で生活出来るようにする。						
事業の概要	30歳以上の市民に対して健康管理調査を行い、さくら市健康診査実施要綱に基づき特定健康診査・基本健康診査の受診を勧奨する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	12,141		11,916		14,797	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	結果相談会の参加者の割合	%	82.6	86.3	88	88
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者に電話勧奨等を行うことにより、前年比3.7ポイント上昇しており順調である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費を抑制する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,240		7,890		9,234	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	24.56	22.04	25	25
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	別の積算方法での受診率（健診除外者控除後受診率）は、25.84%であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	村松 貞往			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,916		14,525		22,798	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	受診率	%		43.9	60	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	平成28年度目標値（55）よりも11.1ポイント未達成。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	インフルエンザ予防事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	永井 紀子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	高齢者インフルエンザの予防接種者の増加により、高齢者のインフルエンザ罹患を防ぐ。インフルエンザに罹患時の重症化防止。						
事業の概要	インフルエンザ予防接種希望者に、塩谷郡市医師会・栃木県医師会に委託し予防接種を行い接種料金を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	24,950		25,824		1,001	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	接種率	%	57.6	58.7	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	成果指標の接種率は、50%後半で推移している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子どものインフルエンザ予防接種事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	永井 紀子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	子どもの個別接種者が増加することで保育園、幼稚園、小学校、中学校での集団的なインフルエンザの蔓延を予防する。						
事業の概要	市内の医療機関と委託契約をして個別接種 ○1回目2,000円の助成○2回目2,500円の助成 市外医療機関で接種した場合は償還払い。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	13,099		12,506		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	実接種率	%	50.2	50.2	50.5	50.5
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	接種率に変化はなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。27年度～30年度までの事業。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	60,052		27,384		29,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数		3,233	3,373	3,420	3,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受け入れ延べ数を指標とした。予定の3,500人には達していないが、27年度より140人増加している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	健康づくり事業の拠点として市民の健康に寄与する。						
事業の概要	市民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うセンター内外各設備敷地の維持管理、保守点検、修繕を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,752		4,462		5,040	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	健康相談、保健指導及び健康診査 その他事業の来場者数。	人	9,441	10,277	10,500	10,700
	活動	会場貸出利用者数		718	1,114	1000	1000
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	来場者数は、予定数（10,000人）を上回った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課		担当者	森 暢子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	健康づくり事業の拠点として市民の健康に寄与する。						
事業の概要	市民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うセンター内外各設備敷地の維持管理、保守点検、修繕を行う。・屋根修繕工事を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,450		2,939		3,887	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	健康相談、保健指導及び健康診査 その他事業の来場者数。	人	4,032	3,923	4,000	4,000
	活動	会場貸出利用者数	人	1,090	1,094	1,100	1,100
達成度の 評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	担当課事業の見直しにより、喜連川保セで実施していた事業を一部氏家保セに変更したこと等もあり、若干、来場者数が減少したがほぼ横ばいとみている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	母子保健計画作成事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	永井 紀子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	平成26年度に母子保健計画がさくら市子ども子育て支援計画の中に位置づけられ、母子保健計画に沿って母子保健事業を行っていくために母子保健事業指針を作成する。						
事業の概要	健康度調査約400件を集計し、現状と課題を把握する。課題に沿って母子保健事業を行うため指針としてまとめ200部作成し関係機関に配布する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	322		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	母子保健事業指針の進捗状況	%	100			
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	成果指標である、母子保健事業指針の進捗状況は100%であることから、達成したと評価する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	森 暢子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄提供には、7日間程度の通院入院が必要で仕事等を休むことが経済的負担となり提供断念となる場合があるため、奨励金を助成することで骨髄提供の機会を増やす。						
事業の概要	奨励金額は、骨髄等の提供のための通院又は入院の日数(上限7日)に、骨髄提供者は2万円を乗じた額、事業所に対しては1万円を乗じた額を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		210	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	交付申請者数			0		
		交付申請事業所数			0		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	骨髄バンクに登録しても提供者の型が一致する必要があるため、一概に評価することは難しいが、一致した場合、提供者や事業所の申請者数が少しずつ増えることを目指す					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結婚、妊娠・出産、子育てに向けてのトリプルPのWA作戦事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	市民福祉部 健康増進課			担当者	永井 紀子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	若年世代が将来親世代となった際に、結婚から妊娠・出産・子育て期までの切れ目ない支援を行うためのネットワークを構築する						
事業の概要	①プレのWA：10回②ペアレントのWA：3回③プロのWA：3回						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		837		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	児童生徒が「相手を思いやる気持ち」や「命の大切さ」に気づけた割合	%		96.5		
	成果	親世代が交流会に講演会・座談会に参加したことで、「不安が軽減した」と感じた割合	%		82.9		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学校教育課、小学校、中学校、市内産院、産後院等と連携し、事業概要のとおり実施することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		